



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により家・建物を地域の公益的かつ非営利なまちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。

# 地域共生のいえ かわら版

## 第2号

発行月：平成26年3月31日

発行：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

ふ れ る ・ つ な が る ・ ひ ろ が る

## 2014年3月に二つの「いえ」が新たに誕生しました！

### 1 ケアラーズカフェ KIMAMA

独学で学んだケーキの評判が人を呼んで

千歳船橋の駅から6分ほどの桜丘区民センターのすぐ近くに岩瀬はるみさんのご自宅がある。小さな看板がある以外はごく普通の一軒家だ。玄関を開けると、ユリの花がフワッと香る。奥のリビングからはにぎやかな笑い声。何より皆さんが笑顔になるのは岩瀬さんの手作りケーキだ。



こんな風に自宅をサロンのように開き、顔見知りの人達が集まる場所になったのは最近のことではない。長男が幼稚園の時代にママ友からケーキ作りの手ほどきを受け、

独学でも腕を研いだ。やがてケーキの味が評判になり、あちこちから作り方を教えてほしいと頼まれるようになった。最初は区民センターで教えていたが、公共の場なので抽選で場所がとれない時がある。ふと岩瀬さんが

「じゃ、うちでやる？」

この一言が現在までの20年余りを形作るきっかけになった。以後は自宅でのお菓子教室になった。やがて自然発生的に週に一回顔見知りがあるサロンのようになっていく。手作りのケーキを食べ、子育ての心配や不安を話し、皆が元気になって帰っていく。

#### 場を必要とされること

だがそんな時間の中で、毎回来ていたある近所の人々が急に来なくなったことがあった。数ヶ月後に姿を見せた時には痩せて、病気の末期となっていた。だがその人は岩瀬さんのところへ出かけること

#### ■DATA

所在地 世田谷区桜丘5-15-11  
連絡先 03-3439-1650  
活動日 第3木曜日 13:00~16:00



を励みに通い続けてくれた。半年後に旅立たれたが、岩瀬さんにとっては必要とされることのありがたさが胸に迫った出来事だった。

「こういう場を切実に必要としている人達がいる」

決意を新たにした岩瀬さんは、改めて地域共生のいえとしてオープンし、毎月第3木曜日をケアラーズカフェ、毎週火曜日をコミュニティカフェとして開くことを決めた。ケアラー、介護という言葉はなんとなく大変で重たいイメージを持ってしまいがちだが、ここは元々のサロンの雰囲気のまま、岩瀬さんがアレンジした



花がそこかしこに飾られ、笑顔が絶えない。地域の包括支援センターの人も顔を出し、だんだんと連携もとれてきている。

「じゃあ、うちでやる？」

といった日から20年余りの日々が過ぎ、現在では退職したご主人もこの活動を一緒に見守り、支えてくれているそうだ。

場を開くことでよい時間をいただいているのはお互い様なのだ。

#### 今号でとりあげる「いえ」

- ケアラーズカフェKIMAMA 1
- いいおかさんちであ・そ・ぼ 2
- あばら屋 春夏 3
- COS下北沢 4
- 読書空間 みかも 5
- リプロニワース 6



### 2 いいおかさんちであ・そ・ぼ

モダンなまちに昭和なおうち

東急田園都市線二子玉川駅の周辺は、郊外型のショッピングセンターが立ち並び、華やかでモダンな雰囲気を漂わせている。そこからほんの10分歩いた川沿いにある黒塗りの板塀の家が飯岡さんちだ。玄関に入る。畳の間を子どもがヨチヨチとお出迎えしてくれて、時計の針が昭和に巻き戻ったようだ。

この家のオーナー、飯岡三和子さんは長年保育園の園長を勤め、子育てママの相談役も担ってきた。

「いいおかさん、外の残ってる雪であそびたいんだけど」

男の子が言うと、

「うん、いいよ。でもね自分でこのへんでやめておいた方がいいなと思ったらやめて帰って来れるかな？」

「わかった」

子どもとの短い会話の中に、飯岡さんの子どもを見るプロとしての視点を感じる。こんな風に自宅を開ききっかけになった出来事は10年前にさかのぼる。近所の赤ちゃんを連れてお母さんが飯岡さんに子育ての相談をし、「よかったら我が家へどうぞ」と気楽に声をかけた子どもが友達を連れて訪れるようになり、そこから10年。現在も学校帰りに立ち寄りという。

#### 共感する人に支えられ



そんな時間の中で飯岡さんに共感し、支えようという人も出てきた。磯村さん夫妻

村さん夫妻と、山口靖代さん達だ。磯村さん夫妻は建築設計のデザインなどの会社を運営、「ユルツナ」というサイトを運営している。山口さんはやなぎ教育グループという幼児教育の会社に籍を置いている。両者がプロデュースするかたちで2013年6月から「いいおかさんちであ・そ・ぼ」という名前で月に2回ほど開いてきた。磯村さんは自身の子育ての中で飯岡さんに助けられた経験者。皆さんボランティアで動いており、「こんな場所がまちにもっと増えてほしい」と話す。一昔前は大家族の中で色々な大人の目や手があり、子育ての知恵も受け継がれてきたが、現代は核家族化が進み、こういった



別の形で知恵の継承が必要とされている時代なのだろう。地域共生のいえになり、多くの人にこの場所を知ってもらうこと、近所に第2、第3のまちに開いた場が増えていくことが夢だという。

「あ、こんにちは」

常連の小学生が当たり前のように「帰って」来た。

赤ちゃん、小学生、大人。皆を巻き込んで「地域共生のいえ」として進化する飯岡さんちにごうご期待だ。

#### ■DATA

所在地 世田谷区玉川2-9-19  
連絡先 03-3709-5835  
[http://www.yurutsuna.jp/real\\_report/pg403.html](http://www.yurutsuna.jp/real_report/pg403.html)  
活動日 第2・4日曜日 10:00~14:00

#### 最近のトピックス

#### 床暖房入りました!!



### 3 あばら屋 春夏

介護の日にティースプーン一杯の気分転換

介護に携わる人にティースプーン一杯の気分転換を、始めて2年半が経つあばら屋春夏。昨年の春、居間に床暖房が入った。長く住んでいる家のため、ホコリにまみれての改修だったが、フローリングになり、更に居心地が良くなったと好評だ。

利用者にとっては、今ではなくてはならない場になっている。活動の中では、利用者を迎える準備に「ティースプーン一杯」の支援があると嬉しいと話すと、オーナーの安田宏子さん。まちに開いた皆の場に、少しのお手伝い募集中だ。



■DATA  
所在地 世田谷区新町2-34-13  
連絡先 03-3420-2649  
活動日 第2火曜日 10:00~12:00

#### クリエイターによるテーブル製作



### 4 COS下北沢 × NPO法人コスファ

地域の「元氣」を育てる発信基地

この日のCOSでは賑やかにテーブル製作が進んでいた。クリエイターを目指す若い人たちの支援を考えてきた「マナブdeアソボづくりリンク」代表の片桐慶子さんがその中心。COSを運営する一員の佐藤里子さんは、若い人がここで地域の人にモノ作

りを教えてほしいと思っていたという。双方の想いで出来あがったテーブルは、今後、COSで開催される色々なワークショップで使われる予定だ。周囲の植物には皆で作った木のプレートも添えられていた。9年目のいえに手仕事の彩りだ。



■DATA  
所在地 世田谷区北沢2-39-6  
連絡先 03-3481-5340  
<http://npocosfa.com/>  
活動日 ホームページをご覧ください

地域共生のいえ  
かわら版  
第2号



## 一箱古本市始めました!!

### 5 読書空間 みかも

大正から引き継がれる空間

#### 新しい風を入れる

この冬は東京にもドカ雪が降り、奥沢の住宅街も白く雪化粧。翌日、雪道に足をとられながらみかもを訪ねると、にぎ



やかな声が聞こえてきた。入り口には瀬戸内海の小島で採られたポンカンとレモンが売られている。雪の白に鮮やかなオレンジと黄色が映える。この日は「一箱古本市」の日。代表の町田恵美子さんは、自由が丘で「まりら書房」という古書店を営んできた。この場所を「読書空間」と名付け、8年が経った。現在は着付け教室やチェロの教室などで使ってもらうことで運営はなんとか軌道に乗ってきているという。

この一箱古本市は彼女曰く「新しい風を入れるため」。自分が古本市を開くと自分のチョイスでしかないが、こうして色々な人が一箱ずつ持ち寄るとその人なりの色が出る。利用料をいただくことで運営費にもあてられる。新しい人も気軽な形で参加してくれることで新しい風が吹く、というわけだ。

室内を見ても、絵本、CD、その他リメイクし



#### いえ ♪ モノノコト



### 6 リプロニワースの特製インドカレー

インターネット古書店

最近ではインドカレーもポピュラーになりましたが、ご主人(古書店が本業!)のカレーは40年来の本場、インド仕込の本格派。種々の香辛料の効能から、インドのマナーや食文化、風土、歴史にも話が飛んでいきます。また、根っからの本好き、書棚の一冊をきっかけに歴史・経済・社会についてのやり取りも。

お話好きの、聞き上手。カレーの力は奥深い?リプロニワースのイッピンを通して、本談義、哲学談義、カレー談義、時にはご主人が池で育てる金魚談義も。楽しいお話で盛り上がること請け合いです。

■DATA  
所在地 世田谷区赤堤1-13-2  
連絡先 03-3324-6465

■DATA  
所在地 世田谷区奥沢2-33-2  
連絡先 03-3718-2011  
http://www.tamamati.com/network/net6.html  
活動日 ホームページをご覧ください

たアクセサリーなども売られていて見あきない。古本市とはいっても小さなフリーマーケットのようだ。店員さんも多世代な感じがにぎやかさと華やかさを添えている。若い人、子ども連れのお母さん、高齢のご婦人。築80年を過ぎたかつての海軍住宅で多世代が穏やかな時間をともに過ごしている図は微笑ましい。

地域に根も生えてきた。2013年には東玉川、奥沢の地域活動団体を紹介する「人&まちネット」にも紹介され、着実に認知度があがっているのを実感する日々だ。

参加者と一緒に町田さん(右)

#### 「きょうよう」と「きょういく」が大事

年をとってくと教養ならぬ「きょうのようじ」と教育ならぬ「きょういくところ」が大事。とみかもの来訪者が言っていた。遠くの用事にはなかなか行けなくても、みかものようなまちに行くところがあれば安心だ。まちに開いたかつての「海軍さんのいえ」には、しっかりと運営を支える人たちが根付き、さらに多世代が入りすることで確実にまちの「きょうよう」と「きょういく」の場に成長している。

一箱古本市は、今後も2ヶ月に1度のペースで開催したいそうだ。

「まずは目に見える形で存在し続けること。場を開くこと。場の特徴を生かす活動を出来ることから始めること」

町田さんの想いは静かに熱い。これからもみかもに吹く風を、楽しみに見守りたい。



## まちの縁側育みプロジェクトながの

■「地域共生の場」を「まちの縁側」と定義し、まちの中にすでにある場を探すことに力を入れているユニークな活動。そうすることで、子育てや介護といった行政の縦割り(福祉、環境、商業など)ではない多様な縁側を発見。まちの縁側新聞「まちななごの」を発行。長野市社会福祉協議会と協働し進めている。



5,000ヶ所を目指して!

#### ■ 信濃では月と仏とまちの縁側

「まちの縁側育みプロジェクトながの」は世の中の人間関係が切れ切れになっていることに憂い、2010年3月に立ち上げたプロジェクトです。まちの縁側を伝える「まちの縁側一座」、新しい縁側を発見する「まちの縁側探検隊」、縁側人が集まる「まちの縁側楽会」などを実施し、長野のまちに「まちの縁側5000ヶ所」を目指しています。

「90歳で一人暮らしのウメさんは、日常生活の維持にも困るようになり、電球が切れてもそのまま、部屋の中には物が山のように重ねられ、孤立していきます。そこに現れた近隣の人たちが醸し出す「縁側の」人間関係がウメさんの心を開いていきます。」まちの縁側一座の物語の一部です。

まちの縁側探検隊は各地で「まちの縁側探けん・発けん・ホットけん」講座を開いています。松代地区に住むIさんは、自宅の玄関脇にベンチを置き「病院や買い物のついでにお休みください!」と看板を掲げました。西三才地区に住むKさんは、眺望のいい自宅の庭に「しのおめ喫茶」を開いて一緒にお茶を楽しむ空間をつくりました。稲田地区に住むNさんは、認知症のお母さんの介護をする中で、地域のお年寄りに話し相手になってもらおうと自宅の離れをサロンにしました。定年退職した川中島地区のSさんは、学校にある保健室と同じような「地域の保健室」を自宅に開設しました。いずれも講座で発見したまちの縁側です。

自宅の余裕空間や自分自身の持ち味を活かし、外に開くことによって、そこが「まちの縁側」になっていました。現在2500ヶ所、目標に向かって今日も縁側の旅が続けています。(まちの縁側育みプロジェクトながの 小林博明)

## クロスロード

ここがまちの縁側!と思ったら認定する。ひと・もの・ことがゆるやかにつながりあう場を発掘し創出する長野市の取り組みをご紹介します。

## 掲示板

放牧する子育て  
ルツの家×おでかけひろば@あみーご  
親子のつどい場「おでかけひろば」の開催日が増えます!

4月14日から月～金曜日(10時～15時)オープンです!月1回の土曜開催(不定期)も継続中。  
どうぞみなさまお立ち寄りください!  
詳しくは下記電話番号または  
http://plaza.rakuten.co.jp/atamigo/へ。

■DATA  
所在地 松原4-2-18 | 連絡先 03-3328-4411

木漏れ日のギャラリー 在林館  
「すまいとまちの絵本展」  
4月17日(木)～7月31日(木)  
毎週木曜日午後1～5時

ギャラリーイベントも企画中。  
詳しくはhttp://aririnkan.blog.fc2.com/へ。

■DATA  
所在地 羽根木2-34-4  
連絡先 03-3321-0530

いわば、地域の笑顔工房です  
あかねこうぼう  
「あかねこうぼう作品展」  
5月27日(火)～31日(土)  
「小塚秀忠 神楽素描展」  
6月24日(火)～29日(日)

詳細は下記電話番号までお問合せ下さい。

■DATA  
所在地 祖師谷4-7-18 | 連絡先 03-3482-1818

まちのお茶の間  
岡さんのいえTOMO  
「一箱古本市」店主募集中!

5月から隔月(予定)で開催する一箱古本市に出店しませんか?詳しくは  
http://www.okasannoie.com/  
の「イベントのお知らせ」をご覧ください。

■DATA  
所在地 上北沢3-5-7  
連絡先 090-8332-7514

## 今年度の空き家等地域貢献活用モデルの公募が始まります。

当財団では、世田谷区の事業である「空き家等地域貢献活用相談窓口」も担っています。

ご自身が所有する空き家や空き室などを地域貢献に提供してもいいとお考えのオーナーの相談を受け付けています。

また、4月からは空き家等地域貢献活用モデル企画募集も始まります。モデルとして選定された団体には、初期整備費用として1モデル最大200万円(助成総額最大800万円)が世田

谷区から助成されます。

昨年度選ばれたモデルは、下記の3団体。初期整備を経て、まさにこれから活用がスタートしようとしています。

1. 自宅の空き部屋を地域の交流スペースにした「シェア奥沢」(奥沢2)
2. アパートの空室をデイサービス&カフェに改修する「タガヤセ大蔵/ANDITO+大蔵プロジェクト推進チーム」(大蔵5)

3. マンションの空室をグリーンケアの場にした「サポコハウス/グリーンサポートせたがや」(太子堂5)

※今年度のモデル企画募集、昨年度選定されたモデル3団体企画の詳細につきましては、財団ホームページ「空き家等地域貢献活用相談窓口」をご覧ください。

私有の空間を活用した多様な地域貢献活用が広がっています。(担当:SK)

## 「トラまち」から

